

令和5年度(令和4年度実績) 総合評価書 <施設名 小泉交流センター >

1 指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2 指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日(3年間)
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 施設の使用及び目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置 5 事業評価に関すること。

4. 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている。 ※新型コロナウイルス感染症対策として消毒時間(13:00～14:00)を設けているため、13:00～14:00は児童館利用をご遠慮いただいている。	-
			②利用人数			平均値比(上記(2)適用) R4: 18,594人÷{(R3: 12,756人+R2: 12,188人)÷2} = 149% 【児童センター】 R4: 16,350人÷{(R3: 11,847人+R2: 11,429人)÷2} = 140% 【交流スペース】 R4: 2,244人÷{(909人+R2: 759人)÷2} = 269% 新型コロナウイルス対応一律8点(令和2・3年度と同様)		開館3年目を迎えたが、初年度は開館と同時にコロナ対策により閉館となり、満足に事業を進めることができない状況が続いた。令和3年度はコロナ禍でもできることを工夫して運営に努めた結果、来館者数はわずかではあるが増加した。令和4年度は、コロナ対策を行いながらもほとんどの事業が実施でき、新たな利用者も増え、来館人数や事業への参加者が大幅に増加した。 【令和4年度】 ※児童センター 来館者数 16,350人 乳幼児 3,141人 小学生 9,153人 中高生 551人 大人 3,505人 ※交流スペース 来館者数 2,244人 乳幼児 103人 小学生 125人 中高生 0人 大人 2,016人 合計来館者 18,594人 【令和3年度】 ※児童センター 来館者数 11,847人 乳幼児 3,107人 小学生 4,669人 中高生 522人 大人 3,549人 ※交流スペース 来館者数 909人 乳幼児 33人 小学生 111人 中高生 3人 大人 762人 合計来館者 12,756人 【令和2年度】 【児童センター】 来館者数 11,429人 乳幼児 3,657人 小学生 4,005人 中高生 103人 大人 3,664人 【交流スペース】 来館者数 759人 乳幼児 0人 小学生 14人 中高生 0人 大人 745人 合計来館者 12,188人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	8点

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微): 8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	【児童センター】 ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計64回開催、延べ1,501名参加) ・児童を対象とした事業(計74回開催、延べ988名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計3回開催、延べ322名参加) ・中高生対象事業(計5回開催、延べ18名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計22回開催、延べ376名参加) 【交流スペース】 ・会議、展示会および市民活動のための施設提供に関すること(計41回開催、延べ439名参加):うち児童センター事業実施分:計26回、327名) ・その他地域交流促進のための施設提供に関すること(計14回開催、延べ203名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 14点	【児童センター】 ・母子推進員との連携で、乳幼児クラブの会員が増加した。 ・小学生クラブもコロナ禍での制限の中で会員数が増えている。 ・地域交流事業では、移動児童館を開催することができた。 ・中高生事業は、乳幼児とのふれあい事業を初めて開催したが、参加者は減少した。 ・子育て事業は、母親クラブ活動が活発に実施できた。 【交流スペース】 ・会議室を定期的に利用する団体が増えてきている。 ・令和3年度は小泉小2年生の町探検を施設見学会として受け入れたが、令和4年度から本格的に事業を開始することができた。交流スペースに子どもたちの描いた絵を常設展示するスペースを設けた。また、その他地域交流の促進事業として、郷土資料学習会や、生涯学習講座、技の交流事業、運動場の活用事業を新たに企画実施した。	14点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計55回開催、延べ722名参加) ・児童を対象とした事業(計49回開催、延べ914名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計22回開催、延べ512名参加) ・中高生対象事業(計15回開催、延べ70名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計7回開催、延べ39名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 14点	【児童センター】 ・乳幼児事業は、新規事業も含め積極的に取り組んだ。 ・小学生事業も館イベントや体力増進事業の回数が増え、参加者も増加した。 ・地域交流事業は、文化伝承や地元との交流ができた。 ・中高生事業はゲームやスポーツに多くの参加があった。 ・子育て事業は、回数を増やすことができ、参加者も増加した。	14点
		(1)施設管理 業務の実施 状況(10点)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレ・備品の清掃:毎日 ガラス・照明器具の清掃:年2回 床面ワックスがけ:年3回 館庭の清掃:2週間に1回 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、こま目に様子を見て清掃している。 害虫ねずみ等の駆除 年4回	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数、実施している。	10点
					電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。 低木の剪定。	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施している。	
					非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
					軽微な修繕箇所を発見した際は、即座に現場において対応し、職員が処理できるレベルでの修繕を心掛けている。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は、遅滞なく対応がなされている。 輪転機保守修理を行った。 29700円(株式会社ジムブレーション)	
					毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。 道路へ飛び出し注意や駐車場の使い方について日頃より伝えている。 館内にハザードマップを掲示している。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点	
2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定。夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 コピー等館内の物はできる限り裏紙を使う。 工作ではトイレットペーパーの芯や古新聞、飲料容器等の廃材を積極的に使用している。 関係機関への連絡はメールを利用している。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			③バリアフリー			バリアフリーの建物の構造を活かし、点字ブロックの上に物を置かないよう周知している。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			⑤個人情報保護			労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団として『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管の上管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして保険に加入している。	0点	
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支		当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、 105%未満～100%:4点、 100%未満:3点	収入15,776,891円 ÷ 支出 18,104,110円 ≒ 87% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。(令和2年度から)			-	
	(1)市民・利用者の声の反映 (20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・館内掲示、ホームページ、SNSを活用したPRをおこない、来館者の増加につなげる努力をしている。 ・図書コーナーの多数の書籍を多く触れる事ができるように、順次ローテーションをして、子どもたちの読書への興味を刺激できるような配慮をしている。 ・学校の休業日や行事を考慮した事業実施日程を設定している。 ・一輪車クラブにおいて、実力調査アンケートを行い、それに基づいてチーム分けを行い、チームの水準に合った練習を行った。 ・乳幼児クラブ、小学生クラブでのアンケートをふまえ、令和5年度のプログラムに反映させる。 ・令和4年度は、子どもスタッフの活動として年度初めにどのような活動を行いたい意見募集、活動の内容や役割分担を行った。	期待以上 13点	【児童センター】 ・窓口にアンケート箱を設置、投書された感想や意見は職員で共有している。 ・利用者からの意見を事業に反映させた。 【交流スペース】 会議室利用時にチェックシートをお渡しし、使用についての意見、感想を受け付けている。	13点	
		②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	「南側道路にせり出ている木(オリーブ)が通行の邪魔をしている」というメールがあったと市役所からの指摘を受け、即日対応した。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点	

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
4	より良い施設運営のための取組 (35点)	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」・5月14日11月19日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」・9月10日～11日「全国子育てフォーラム」(オンライン)・11月5日「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。・年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン)・法人内児童館職員研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県】9/2 木育フォローアップ研修 10/25,2/25ぎふ木育サポーター研修 飛騨五木株式会社【主催:岐阜県児童館連絡協議会】9/6館長研修会「安全指導・安全管理」岐阜県児童館連絡協議会副会長 古田稔幸先生「館長交流会」～コロナ禍における児童館での工夫～・10/28東濃地域児童館職員等研修会「地域福祉活動」愛知文教女子短期大学幼児教育学科 祢宜佐統美先生「虐待講話」岐阜県東濃子ども相談センター 武井勇美子先生「ゲーム運動あそび(科学あそび)」サイエンスワールド 細江理恵子先生・11/8東濃ブロック研修会「表現活動(身体表現)」スタジオf日本こどもフィットネス協会 荻野房子先生 ・11/13～14「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。・2/27～28「全国事業推進会議」子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン) ・愛知岐阜静岡エリアブロックにおいて研究交流会および経理研修を計6回開催した。(オンライン) ・法人内児童館職員全員参加研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。(新型コロナウイルス対策・次亜塩素酸水活用法・密を避ける遊びの工夫・公共を担う仕事・熱中症予防健康管理・SDGs・児童館ガイドライン・リスクマネジメント・子どもの権利・ぎふ木育・など専門性を高める研修) ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・12/16館長研修会「コロナ禍の児童館運営について」児童健全育成推進財団理事長 鈴木一光先生 ・11/12東濃ブロック児童厚生員研修会「個別支援のあり方」児童心理療育施設桜学館施設長 児玉俊郎先生・11/18東濃地区児童館職員等研修会「コロナに対応した運動あそび」ルーデンスジャパン 山田恭平先生「児童発達理論」岐阜聖徳学院大学 高村和代先生「虐待講話」東濃子ども相談センター 小池智明先生	期待以上 14点	【児童センター】 ・地域連携、母親クラブ連携を積極的におこない、新たな事業を実施した。(小泉のうた体操の普及活動等) 【地域交流スペース】 ・地域との積極的な連携を行っている。 ・コロナ感染防止対策の為、令和2年度は地域各団体への連携依頼を控えていたが、令和3年度は新たな事業を実施する為に、ファイナンシャルプランナーやパソコン教室、体操教室などにつながりをつくり、交流スペース事業企画の連携を始めた。 ・令和4年度は、令和3年度のつながりを活かし、新たな連携や事業を発展させた。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めた。	14点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微): △1、 一部遅れ・不備あり(中程度): △2、 一部遅れ・不備あり(それ以下): △3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施している。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり: 減点なし、 対応等が期待以下(軽微): △1、 対応等が期待以下(中程度): △2、 対応等が期待以下(それ以下): △3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施している。	0点
合計			100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下			全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・令和2年度当初の開所すぐにコロナとなり、思うような事業展開ができなかったが、3年目を迎え、コロナ禍の中でもできることを工夫し、新たな事業展開を行い、地域との連携も密にして活動することができた。	88点 極めて良好